

【概要】

2017年度 民間住宅ローン利用者の実態調査 【民間住宅ローン利用者編】(第2回)

I 調査の概要

2017年10月～2018年3月に民間住宅ローン(フラット35を含む。)の借入れをされた方を対象とし、利用した住宅ローンの金利タイプや住宅ローン選びに関する事項について、インターネットによるアンケート調査を実施し、その結果を取りまとめたものです。
(参考)調査時期 2018年4月10日～4月16日、回答数:1,500件

II 調査結果の主なポイント

※<>は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

- 1 「変動型」の利用割合が増加し、「固定期間選択型」の利用割合が減少**<p. 2>
 - ・「変動型」は、56.5%(前回調査 50.4%)に増加
 - ・「固定期間選択型」30.1%(同 36.9%)に減少
 - ・「全期間固定型」13.3%(同 12.6%)と微増
- 2 今後1年間の住宅ローン金利見通しは、全体では「ほとんど変わらない」が大半**<p. 11>
 - ・全体では、「ほとんど変わらない」が59.0%(前回調査 57.6%)に増加
 - ・「全期間固定型」では、「現状よりも上昇する」が55.0%(同 46.6%)に増加
- 3 利用した住宅ローンを選んだ決め手は、「金利が低いこと」が最多**<p. 18>
 - ・利用した住宅ローンを選んだ決め手は、「金利が低いこと」が69.7%(前回調査 68.0%)と最多

本調査結果の詳細は、住宅金融支援機構ホームページ(https://www.jhf.go.jp/about/research/loan_user.html)に掲載